

## The MIRAI Times

Vol.005

# ビジネスパートナーと共に、SMFLグループの強みを活かし、新たな事業領域やエッジの創出に挑む

SMFLみらいパートナーズを「FLMP」と略称記載

## PFI / コンセッション

## 愛知県で国内最大級のアリーナ整備事業へ参画

SMFLは前田建設工業、NTTドコモ、東急、日本政策投資銀行等と共同で「愛知国際アリーナ」を設立、愛知県新体育館整備・運営等事業に参画した。同アリーナは2026年アジア競技大会の開催が予定され、収容人数15,000人を誇る世界水準の施設となる。魅力ある大規模スポーツ・コンサートの誘致・開催を通じ、地域に感動・興奮・共感をもたらす新たな文化創造拠点を目指していく。

2025  
SUMMER  
OPEN

## 地方創生

## 地域の歴史や文化を尊重した サステナブルな地域社会の発展に貢献

## 01 / 秩父まちづくり

SMFL、西武リアルティソリューションズ等により設立した「秩父まちづくり」が「小池煙草店」など歴史的建造物を分散型宿泊施設に再生し、2022年8月開業。地域資産を活用し、街の活性化に貢献していく。



## 02 / 奈良古民家まちづくりパートナーズ

FLMP、南都銀行等で設立した「奈良古民家まちづくりパートナーズ」がサポートし、奈良最古の醤油蔵を宿泊施設「NIPPONIA 田原本 マルト醤油」として再生。醤油製造も70年ぶりに再開した。



## 03 / NIKI Hills ヴィレッジ

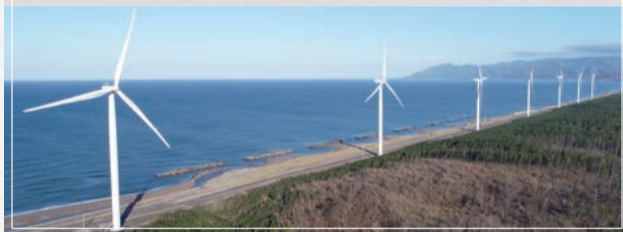
NIKI Hills ヴィレッジは、アブ産地の北海道仁木町でホテル・レストラン併設のワイナリーを運営。SMFLは施設整備等のサポートを通じて地域の新たな産業の成長に貢献していく。



## インフラファンド

## 新たなインフラ事業への参画

FLMPはグローバル・インフラ・マネジメント (GIM\*) と共に稼働済み国内インフラを対象としたファンドを設立。2022年6月、第一弾として秋田県八峰町の風力発電事業へ投資実行。同時に、GIMが設立の新規インフラ開発ファンドへLP出資。国内インフラの整備とインフラ資本市場の拡大に寄与していく。



\*GIMは、2017年4月設立、東急とインフロンティア・ホールディングスの折半出資の合弁会社

## ドローン

## 農業用ドローン等の先端技術の普及

SMFLはナイルワークスの完全自動飛行型の農業用ドローンやデジタル営農アプリの普及をサポート。同社と共に農業が抱える課題をテクノロジーで解決することを目指していく。



## COLUMN

## EVの普及推進とEVを活用した 新たなエネルギーインフラの構築

2050年のCO<sub>2</sub>実質ゼロの実現には、再エネの供給拡大と安定化が必須となる一方で、供給量が天候等に左右されるという課題がある。そこで注目されているのが、EV・蓄電池などの分散型電源を束ねて運用・制御し、エネルギーの需給調整を行うビジネスである。SMFLグループでは、REXEVやプラゴなどの事業パートナーと共に、EVを軸としたエネルギーの需給調整の実現を目指し、新しいビジネスモデルの研究開発を進めている。

## 01 / EVエネルギーマネジメント「REXEV」

SMFLは、REXEVとの協業を通じて、EVやEV充電器などを対象に、エネルギーマネジメントを付加価値としたモビリティサービスを顧客に提供している。再エネ余剰分の蓄電や災害時の非常用電源など、EVを社会課題の解決手段として活用し、持続可能なエネルギー社会の実現に貢献していく。



## 02 / EV充電サービス「プラゴ」

プラゴは、都市型商業施設や観光地などの目的地でのEV急速充電や予約・決済アプリなどの利便性の高いEV充電サービスを提供。SMFLは、EV充電インフラを活用した電力需給調整ビジネスを目指し、同インフラの更なる普及を推進する。



本件に関するお問い合わせはこちらまで！

TEL. 03-6695-5870

SMFLみらいパートナーズ株式会社 新事業本部 ネクストビジネス開発部  
[受付時間] 午前9時00分～午後5時00分(土・日・祝を除く)